

鳥取市総合計画市民ワークショップ

報告書

2020年11月

鳥 取 市

目 次

I. 実施概要.....	1
1. 目的	1
2. 実施概要.....	1
II. グループ（テーマ）別のアンケート結果	1
1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ	1
2. 経済が成長する活力あるまちづくりグループ.....	8
3. 賑わいあふれるまちづくりグループ	14
4. だれもが活躍できる健康・福祉のまちづくりグループ	21
5. 快適で暮らしやすいまちづくりグループ	27

I. 実施概要

1. 目的

本業務は、第 11 期鳥取市総合計画の策定にあたり、市民の皆様から政策分野ごとに鳥取市の特徴や課題、将来像をふまえて求められる鳥取市（行政）の取組などについて意見をいただき、計画づくりの基礎資料とすることを目的とする。

2. 実施概要

今回は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、会場に集まって意見交換を行なう方式をとらず、参加者に対して 2 回に渡ってアンケートを実施し、得られた回答をとりまとめる方式とした。

(1) アンケートの構成と主な設問

アンケート実施に際し、次項に示すような 5 つのテーマを設けた。第 1 回アンケートでは、各テーマについて幅広く、市民生活で困っていること、問題と感じていることなどの「問題点」と、各テーマについて鳥取市にどんなまちになって欲しいかなどの「将来像」を尋ねた。また、これらの 2 つの質問について、それぞれ問題点の解決、将来像の実現に向けたアイデア・取組についてもご回答いただいた。

これらの問題点と将来像に関する意見をカテゴリー別に整理・集約し、第 2 回で参加者に意見を求める「議題」をテーマ（グループ）毎に 2 つ設定した。

第 2 回では、第 1 回で得られた結果を参加者に還元するとともに、設定した議題について、テーマ（グループ）ごとに「（市民が）できるコト」、「（鳥取市役所で）やってほしいコト」の 2 点について尋ね、ご回答いただいた。

また、「（鳥取市役所で）やってほしいコト」についてご回答いただく際には、最も重要と考えるものについて議題毎に 1 つ選択し、◎をつけていただいた。

(2) 実施期間・回答者数

	実施時期	回答者数
第 1 回	2020 年 9 月	21
第 2 回	2020 年 10 月	20

(3) 意見集約を行なうテーマ（グループ）

今回のアンケートでは、政策分野に関する5つのテーマを設け、グループごとに参加者へ意見を募った。

1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ	
	(結婚・出産・子育て・教育 分野)
	●妊産婦や子育て世代が安心して暮らせるまちにするには ●思いやりや自ら学ぶ意欲、郷土を大切にする心を育むためには
2. 経済が成長する活力あるまちづくりグループ	
	(商工業・観光・農林水産業 分野)
	●活力ある商工業・農林水産業の発展のためには ●観光資源を活かしたまちづくりをすすめるためには
3. 賑わいあふれるまちづくりグループ	
	(地域振興・中心市街地活性化 分野)
	●賑わいあふれる中心市街地にするには ●活力ある・まち・むらにするには
4. だれもが活躍できる健康・福祉のまちづくりグループ	
	(福祉・健康・多文化共生 分野)
	●健康寿命を延ばしいつまでも元気でくらすためには ●高齢者・障がい者・外国人など、多様な人材が活躍し、ともに暮らすまちにするためには
5. 快適で暮らしやすいまちづくりグループ	
	(公共交通 分野)
	●持続可能な公共交通のあり方とは

Ⅱ. グループ（テーマ）別のアンケート結果

ここからは、2回に渡って実施したアンケートを通じて、グループ（テーマ）ごとの問題点と将来像から抽出・設定した議題、その議題について鳥取市（行政）へ期待する事柄等を以下の通りグループ別に整理・掲載する。

1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ

（1）第1回のアンケート結果

第1回では、グループのテーマに関して参加者の感じている問題点、同じくテーマに関する鳥取市の将来像について意見を尋ねた。これらの意見を集約・分類することにより、2つの議題を抽出した。

未来を創る人材を育むまちづくりグループ（結婚・出産・子育て・教育 分野）では、「子育てを安心してできる場の充実」や「地域が一体となった子育て支援の充実」に関する意見が共通してみられたことから、『子育て環境を充実させるためには』を議題1とした。

また、同様に、「郷土愛の醸成や多様な教育の実施」や「若者が地域で活躍するための取組の実施」に関する意見が共通してみられたことから、『次代を担うこどもたちの育成や若者の活躍のためには』を議題2とした。

	問題点	将来像
子育てを支援する場所の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 子育てをしているお母さん方を開放して市内の温泉、食事などでゆっくりしてもらおう。その間のこどもを安心して預ける場所もすべての公民館などに置く。 • こども食堂が増えつつあるが、1才くらいからでも利用できる食事にすればと思う。 • 子育てをしている親子が町中に休息する場所が少ないと思う。古民家などを利用した場所を作ればよいと思う。 • こどもたちだけでも安心して遊べる環境づくり。 • 胎教・0歳児からのコンサートを企画したいが、聴く側が心地よく感じられるような音響のホールや施設がない。 	
地域が一体となった子育て	<ul style="list-style-type: none"> • 地域レベルでの結婚から妊娠・出産を経て子育て期に至るまでの切れ目ない支援強化 • 地域の目があることで、不審者からこどもを守り、こどもたちだけでも安心して遊びに出られる環境づくり。 • 子育てをする環境を自分から整えられる余裕がない人が多いように感じる。 • こどもの育て方に問題があるのか、親の育児放棄など、お母さん方など家族、地域が一体となった共助がなされるような学習が必要でないか。 • 核家族化や地域のつながりの希薄化。 	



【議題 1】 子育て環境を充実させるためには

1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ

	問題点	将来像
郷土愛の醸成や多様な教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取ならではのふるさと教育をもっと探求してみてはどうか。 小学生を含む年代から鳥取市を知ってもらうためにこどもツアーなどが少ないのでは。 郷土を大切に作る心や未来を創る人材を育むためにまずは大人がこどもたちに背中（見本）を見せられているのか。 それぞれの個性を活かす・認める教育を 未来を切り拓く＝考える・生きる力が必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと教育の先進県となる（砂をとりいれた教育）。 こどもたちの文化活動を推進して、町内などの文化、芸能活動を推進していく。 こどもの興味（アンパンマンなど）と大人の興味を分けて考えるのではなく、親子で興味を持って継続して楽しめる分野（芸術・文化）の開拓。 大人が本気でこどもたちのことを考え、地域全体で未来を担うこどもたちを育てていける鳥取市。
若者が地域で活躍するための取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> 高校卒業後、県外の大学へ進学→県外就職（地域を担っていく若い世代が戻ってこない）。 地域の行事などに若い世代が参加しない。地域の伝統等が受け継がれない。 女性が活躍していく社会の中で、行政や団体といったまわりの関連施設だけではなく、働く企業や社員間の理解が必要。 若者にとって魅力あるまちづくりが実現できているのか。鳥取で働きたい、事業を起こしたいという可能性を感じる鳥取であるのか。 結婚に至るまでの出会いが少ないと思う。鳥取市には山あり海、砂丘、農業などを利用した出会いの場所を作ればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が地域を盛り上げていける。 人口が若者中心に増えたらいいと思う。 子育て世代の在住増加。 若者が夢や目標を持ち挑戦できる鳥取市。 郷土に誇りを持ち、鳥取で働きたい、この地域のために何かしたい！と能動的に行動を起こせる若者が増える。 こんな町に住みたい！と思える町にする。



【議題2】 次代を担うこどもたちの育成や若者の活躍のためには

1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ

(2) 第2回のアンケート結果

第2回アンケートでは、第1回で選定した2つの議題について、鳥取市（行政）での取組、市民の取組に関する意見を尋ね、その結果をとりまとめた。

『議題1 子育て環境を充実させるためには』では、「情報発信の充実」、「情報交換の機会・場づくり」、「助成・補助などの支援」に関する意見が共通してみられた。

『議題2 次代を担う子どもたちの育成や若者の活躍のためには』では、「鳥取市を知る・ふるさと教育」、「就業・就職の環境づくり」、「イベント開催」に関する意見が共通してみられた。

【議題1】 子育て環境を充実させるためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> 役場や支援センターに行かなくても、子育て世帯にいろいろな情報が行き渡るように（公民館などを通じて）。 ◎市のホームページ等の情報発信（とっとり市子育て手帳と同じような地域子育てサークル等（乳幼児向け）、予防接種等の情報） 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を提供する（実際の悩みに対して、解消できそうな情報を提供していく） 市民の声をもっと行政に届けなければいけないんだなと感じます。
情報交換の機会・場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◎子育てや出産・シングルの方がもっと気軽に相談でき、困った時に何でも解決できる！という場所があればと思う。 子育て中のお母さん方が気軽に情報交換ができる場所作り。 子育て世代の人たちの交流の場を作る。 子育て相談専用窓口を作る（電話、メール、掲示板等） 親子が、気兼ねなくグループで食事を取れる場所が市街地に少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちも楽しめ、ママも息抜き（リラックス）できる場所ができるといいなと思います。 親が自分ひとりの時間を作るためにも、子どもを預ける（預かる）。 子育てがしやすい公園を作って、一角に茶飲みができる場所を作る。 イベントがあれば手伝いに出る。 地域の中での行事に積極的に参加する。

1. 未来を創る人材を育むまちづくりグループ

<p>助成・補助などの支援</p>	<p>◎金銭的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンターなどを利用された依頼会員に対しての助成制度（有償の子育て支援） 子育てセミナーを無料で行う 	<ul style="list-style-type: none"> 親子で集える場所へ協力支援や子育て支援（有償のボランティア）への協力支援 県外の施設も参考にすが、やはり一番の問題は運営費。 実際に運営していくお金とママが出せる利用料が見合うように。
<p>その他</p>	<p>◎出産前から子育て、入園を行政だけに任せない方がよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリーも大切ではないか。 病院（小児科）に行きやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> お互いに助け合う（子育ての悩みを聞く、こどもを預かる） 近所に子育てが大変そうなママや、こどもがいたら声をかけてみる（人と人との結びつきを強化していく必要がある）。 子育て環境の充実には、周りに一緒に子育てをしている人、子育て経験のある人がいると安心でき、心強いと思う。 こどもの遊び相手になる。 自分でも協力できる。 重い荷物持ちなど手伝える。 地域でのこどもたちの見守り（あいさつ運動等）

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

【議題2】 次代を担う子どもたちの育成や若者の活躍のためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
鳥取市を知る・ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちにもっと鳥取市を知ってもらうために、行政が子どもと一体となるワークショップなどを開く。 • 遊びながら学習できる場を設ける。 • 地域の伝統が受け継がれる事業に対して積極的に取り組んで欲しい。 • 幼い時から地域に密着した教育があるとよいと思う。 <p>◎市のホームページ等の情報発信（若者の声で市のよいところ紹介、若者が活躍できる場所の提供）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地区などの祭や、住む町を守っていくために行政などがする住民と市民等の話し合いに子どもたちも参加してもらう。 • 幼い時から地域の中での行事に積極的に参加する。 • 地域に住んでいる子どもたちと常にコミュニケーションをとれるようにする（挨拶をする）。 • キャリア教育（ふるさと教育）に力をいれる（行政と連携し、幼小児から文化をしっかり根付かせていく）。 • 鳥取の親子で遊べる場所を SNS 等を活用してアップしていく（情報発信）。
就業・就職の環境づくり	<p>◎行政と民間がもっと手を取りあって若手の育成を行っていく必要があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地元の企業の応援・支援してもらい、若者が働きたいと思える企業を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者の住みやすく、また、働く場所を増やしていく。 • 若者と一緒に考えて、一緒に声をあげる。その方法を、大人が教える。 • イベントを行う際には、大学生・若手を巻き込み一緒に事業を実施する形をとっていく。

イベント開催	<p>◎車を持っていない世帯向けに、できるだけ公共交通機関を使っている場所でイベントを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取には観光向けにも施設が多いのでそこを活用する。 開催時間も交通機関に合わせて決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇を活用して、鳥取の自然でおもいきり親子で遊ぶ。そして鳥取の良さを感じる。 鳥取市を知るツアーを家族単位でやってみる。夏の自由研究のテーマにしてしまうのもありだと思います。
その他	<p>◎若者の引きこもりなど、働くことを中心にするより心の病などの見守り、相談が大切だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 何十年後を見据え、計画的で素晴らしい改革をお願いしたいです。 子どもたち同士の触れ合いの場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備をする。 家周辺の草木（雑草）の手入れをする（怪我をしないようにと遊びやすい環境を作るため）。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

2. 経済が成長する活力あるまちづくりグループ

(1) 第1回のアンケート結果

第1回では、グループのテーマに関して参加者の感じている問題点、同じくテーマに関する鳥取市の将来像について意見を尋ねた。これらの意見を集約・分類することにより、2つの議題を抽出した。

経済が成長する活力あるまちづくりグループ（商工業・観光・農林水産業 分野）では、「稼ぐ仕事、新しい仕事の創出や学生と企業の関わり」や「農地の整備や学生による活用」に関する意見が共通してみられたことから、『所得向上、仕事や雇用の創出のためには』を議題1とした。

また、同様に、「地域の魅力向上や特産品開発、観光資源の活用」に関する意見が共通してみられたことから、『観光資源の磨き上げやさらなる活用、情報発信を行うためには』を議題2とした。

	問題点	将来像
業の関わり 稼ぐ仕事、新しい仕事の創出や学生と企業	<ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドを仕事にしているが、各団体がお金を得る事に協力できていない。無償では成り立たないのでもっと仕事を作っていく。 移住に関わっているが、鳥取の「あたりまえに収入が低い」という考えを改めて、少しでも多く稼げる、稼がす気風作りが必要（安い給料で生活できずに戻る人が多い）。 新しい仕事がどんどん生まれるような活気が足りない。 収入を得る、働く所の確保（成果を期待）。地元企業の育成と助成。県外の中規模、大手企業の誘致。 お金を稼げるアイデアのある人は、もっと人に教える。 大学に来ている8割の県外学生が鳥取で働く意識を持ってもらえていない（若者定住・労働力不足） 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市に来たら、面白いやりがいのある仕事が多くあり、稼げる場所になる。 高校生は、県外へ出て成長していつか鳥取市の発展に寄与する意識を持つ高校生が増え、大学生は鳥取市で働くことも視野に入れて日頃から企業と関係を持つ。
農地の整備や学生による活用	<ul style="list-style-type: none"> 本市に残されている優良農地（水田）の維持と主食の米の生産を合理的に行う体制（①行政の責任で農地（水田）を集約し、責任ある者に耕作を許可する。②圃場整備が必要）。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地や中山間地でも安心して暮らせる環境の整備。 農業分野に関しては、耕作放棄地などが豊富にあるので、その土地を研究などの分野で活かさないものか（スマート農業、全自動機械化農業の推奨地に）。 若者が農業しやすい土地。機械とか土地代が必要なので若者の将来への投資として、動き始めるときに支援制度がほしい。 農学部の大学生とか、畑で作物を育てたいと思っている人も多いので、簡易的に耕作放棄地など使っていない場所を貸し出してもらえる制度が欲しい。 農業のアルバイトとか、やりたい。大学生など車を持っていないと現地に行けないバイトなどもあるので、送り迎え付きのバイトがもっと増えて欲しい。



【議題1】 所得向上、仕事や雇用の創出のためには

	問題点	将来像
観光資源の磨き上げやさらなる活用	<ul style="list-style-type: none"> • 特産品のイメージが梨とらっきょうの二択しかないのが残念。海鮮等のイメージが全くなかった。 • 全国でも稀にみるほど、鳥取は川や海がきれいだと思うが、鳥取に来るまでそのイメージが全くなかった。 • 国府町の観光、国庁跡（万葉歴史館）、殿ダム、雨滝ルート of 観光整備。 • 観光資源をいかした体験コンテンツが滞在につながるが、コンテンツが不足もしくは、連携できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中心市街地から山・川・海へのアクセスの良さと、豊かな農産物・海産物をほぼ同時に楽しめる魅力を県外の人に知ってもらい、観光から定期的な滞在、移住へとつながる。 • まちのいたるところにアートがあり、滞在制作をするアーティストや作家によるイベントが定期的に催されるなど、アート・カルチャーの分野でも魅力的なまち。 • アウトドア観光に注力して、鳥取のライフスタイルと観光需要をマッチさせ、観光に来た人が鳥取で暮らすことを視野に入れ移住してくる。 • 市営のジビエ加工施設を作り、日本初 100%活用を達成する。
プロモーションの方法	<ul style="list-style-type: none"> • シティプロモーションのテーマ（キャラクター、コンセプト）に継続性・一貫性がないこと。 • 情報とアイデアがもっと共有しやすければ課題も進むかも。 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥取ブランドを都市・海外に発信。 • 都市部で、鳥取酒場をチェーン店化して食材と観光アピールが全国で話題になる。 • マリンスポーツとかもっと広報して、「海と砂丘と星空」みたいな、きれいなイメージを他の地域の人に感じて欲しい。



【議題2】 観光資源の磨き上げやさらなる活用、情報発信を行うためには

(2) 第2回のアンケート結果

第2回アンケートでは、第1回で選定した2つの議題について、鳥取市（行政）での取組、市民の取組に関する意見を尋ね、その結果をとりまとめた。

『議題1 所得向上、仕事や雇用の創出のためには』では、「空き家、農地の活用」、「仕事・暮らしのPR」、「学生の取組支援」に関する意見が共通してみられた。

『議題2 観光資源の磨き上げやさらなる活用、情報発信を行うためには』では、「スポーツ・芸術・観光の体験事業」、「勉強会・ワークショップ」、「情報発信」に関する意見があがっている。

【議題1】 所得向上、仕事や雇用の創出のためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
空き家、農地の活用	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家ツアー • 放棄農地ツアー • 中心市街地の空き家や空き店舗を有効活用できるように、継続的な情報発信をし、また新規事業を興そうとする事業者とのマッチングができるような企画をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中心市街地にある弊社事務所の空きスペース（階まるごと、未整備）をシェアオフィスやコワーキングスペース的に提供することが可能です。 • 地域の活動を通じて様々な取り組みをしている人やコミュニティとのつながりもできてきたので、挑戦したいことがある方に対して数珠繋ぎ的に人材を紹介することもできると思います。
仕事・暮らしのPR	<ul style="list-style-type: none"> ◎市内の様々な職業を紹介するウェブコンテンツを制作し、鳥取の豊かな仕事や暮らし、その両立。家や県外からでも見られるようにPRしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> •

2. 経済が成長する活力あるまちづくりグループ

<p>学生の取組支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学生企業の援助。 • ボランティアの学生団体の広報 <p>◎学生と地域活動をする交流会とか知り合える機会があれば、新たな取組みに繋がる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新事業の立ち上げ。学生企業。学生団体。 • 農地の整備や農業の人手不足なら、ボランティア学生団体に請け負える。 • 学生と企業や地域住民との企画が立ち上がるなら参加できる。
<p>その他</p>	<p>◎路面電車誘致の勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市役所見学ツアー • 社会見学ツアー（社会編と農林水産業編） • 雇用創出セミナー（成功した人の話を聞く） • 観光農園の取り組むため支援を希望する（竹林伐採整備の補助、その他①入園者が安全に移動できる園内に整備、②雑木や竹の下刈り、③遊歩道の新設、④管理小屋等、鳥獣イノシシ等の対策のため、金網の設置が必要）。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中心市街地に店を借りているので、チャレンジショップや集まりに使える。 • 鳥取でのスロウライフを提案する団体に関わっているので、団体の拠点で遊んだり、BBQしたり木工したりできる。 • ガイドで砂丘や岩美の海に関わっているので副業として参加してみてもいい。 • 薪の事業をしているので、薪の販売をする。 • グリーンツーリズムの取組を行っている団体で、クロモジオイルを作っている所以薬の香が提供できる。 • 弊社では柔軟な雇用体系を準備しているので、複業や短時間勤務など、手に職をつけながら様々なことに取り組みたい方を雇用面から支援できます。 • 職場や学習塾、幼稚園などと連携して小規模な送迎システムをつくれれば、より働きやすい環境づくりに貢献できるかもしれません。 • 集落の山裾一体の荒廃した畑地と、その上部に広がる放置された竹林を伐採整備し、観光農園にしたい。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

2. 経済が成長する活力あるまちづくりグループ

【議題 2】 観光資源の磨き上げやさらなる活用、情報発信を行うためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
光の体験事業 スポーツ・芸術・観	<ul style="list-style-type: none"> ◎砂丘だけを PR すると、不毛の地のような印象を受けるので、マリンスポーツと一緒に宣伝に力を入れてみては。 ◎国際的なアーティストを招聘した芸術祭の企画(越後妻有トリエンナーレや瀬戸内芸術祭のような)。 ●観光やアクティビティを体験する(メニューを作って多くに触れる)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろなガイドに、案内してもらい体験する。(例えば、夜の砂丘をガイドしてもらって歩いてみる) ●観光商品(タクシー観光)の造成をして、観光ルート開拓に協力することが可能です。 ●マリンスポーツとかあったら、SNS で発信できる。
アップ 勉強会・ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ●観光コンテンツの掘り起こしや組み合わせを行なうワークショップや企画。 ◎観光業者に講師を頼み勉強会(現状と課題) 	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取は砂丘のイメージがあるので、南国フルーツを育てて特産品にしようという話がある(南国をイメージした観光農園で SNS 映えも)
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取市公式インスタグラムやツイッターを、角の立ったキャラクター設定で発信すれば、ありがちな景色も印象が変わり、バズるかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS やインターネットを通じて地域情報の発信をすることができます。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ●山陰海岸ジオパークのストーリーを募集しコンテストをしてみる。 ●月に1回くらいで、アクティビティ・事業者とゲストハウス事業者のミーティングをそれぞれの事業所を転々と変えて行う(情報の共有)。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

3. 賑わいあふれるまちづくりグループ

(1) 第1回のアンケート結果

第1回では、グループのテーマに関して参加者の感じている問題点、同じくテーマに関する鳥取市の将来像について意見を尋ねた。これらの意見を集約・分類することにより、2つの議題を抽出した。

賑わいあふれるまちづくりグループ（地域振興・中心市街地活性化 分野）では、「シャッター通りの解消・人々が訪れる活気あるまちにする」といった意見が共通してみられたことから、『鳥取駅前、商店街での賑わいづくりのためには』を議題1とした。

また、同様に、「地域の特性を活かした活性化」、「地域の担い手確保への取組」といった意見が共通してみられたことから、『地域特性を活かし、地域活動を活性化するためには』を議題2とした。

	問題点	将来像
シャッター通りの解消・人々が訪れる活気あるまちにする	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター通りを無くす。 • 鳥取駅前活性化（駅前がさびしい） • 鳥取駅前がいまいち賑わっていない事（特に南側） • 駅を中心に若桜街道・智頭街道の商店街は平日の昼間は人がほとんど歩いていない。デパートも平日は客より従業員の方が多い。 • 商店街でシャッターを閉めている店が多くある。 • 怖い人が集まるイメージがあり、商店街から地域の衰退につながりかねない（商店街の衰退による諸問題）。 • 観光客を宿泊以外で駅周辺に集めきれしていない。 • 中心市街地の駐車場の無料時間がない or 短いこと。 • 全天候に対応できる施設の充実 • 娯楽施設（映画館など）が市街地で充実していない。 • 空き家活用がブームになっているが、元々空き家であるため撤退しやすく、さらに印象ダウンへつながっている（活用された空き家の空き家化）。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地方都市として駅周辺から活気のある街となってほしい。 • 近隣の町から人々が訪れる場所。 • また訪問したくなるような町。 • 年代を問わず人々が日常生活を楽しめる街にしたい。 • 小さなお店が活躍できる町。



【議題 1】 鳥取駅前、商店街の賑わいづくりのためには

	問題点	将来像
地域の特性を活かした活性化	<ul style="list-style-type: none"> • 地域（支所エリア）の産業が農業にかたよっている事。 • 地域ごとにまちづくり事業の取り組みに差があり、活性化できている地域とそうでない所があること。 • 鳥取は、豊かな自然や景観、文化・歴史があるにも関わらず、県外の人々には「鳥取砂丘以外の魅力」がほとんど伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 農業以外の選択をしながら、中山間地域への移住が進む。 • 仁風閣や久松公園など、まだ県外に知られていない歴史的建造物や観光スポットをもっと拡散力の強いツールを活用し、PRしてほしい。 • 住民がそれぞれ輝き、それぞれが幸せに暮らせるまち。これが行なわれているまちは居心地がいい。 • 若い人が「やってみたい」と思える仕事があるまち。
地域の担い手の確保への取組	<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動（会議も含む）のメンバーの固定化。特に高齢者のみの場合が多く、結局若者が地域に寄り付かない。また、地域に関わる年齢の高齢化もある。 • 地域情報が入らない。知ろうとしないと入ってこない現状で、せっかく鳥取大学に地域に興味・関心がある若者がいるのに埋もれてしまっている。 • 若者の地域外流出及び地域外流出県からの地元応援がない。出て行っても応援すればいいのでは？（地域関心の薄れ） 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域づくりの主体を担う行政・民間・住民3者の距離が近いまち。フォロー体制をしっかりとつくる。 • 行政サービスに頼らない地域住民主体のまち。行政にも限界があることを認知し、むしろ自分たちが動きやすいと気付くべきだ。 • 大学生と地域の方との交流が盛んで専門性のあるまち。大学があるまちというだけで強い。 • 関係人口が増える町。交流人口。



【議題2】 地域特性を活かし、地域活動を活性化するためには

(2) 第2回のアンケート結果

第2回アンケートでは、第1回で選定した2つの議題について、鳥取市（行政）での取組、市民の取組に関する意見を尋ね、その結果をとりまとめた。

『議題1 鳥取駅前、商店街の賑わいづくりのためには』では、「イベントや事業の企画・実施」、「空き店舗・空き家の情報共有」、「情報収集と情報発信」、「意見の集約や意識啓発」に関する意見がみられた。

『議題2 地域特性を活かし、地域活動を活性化するためには』では、「施設・環境の整備」、「住民参加の促進」、「学生参加に繋がる取組」に関する意見があがっている。

【議題1】 鳥取駅前、商店街の賑わいづくりのためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
イベントや事業の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 駅前にシンボルツリーを植樹。 ◎ 定期的に直売店やマルシェを開催するなど、イベントを計画して実行する。 • アウトレットロードとして全国のアウトレットに出店されているメーカー・企業を誘致する（市役所としても参加してもらいたい）。 • 市のこどもたちに向けた特産物を活用したワークショップを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> • アーケードを利用、ガレージセールを毎月定期的で開催する。 • 市民金魚すくい大会、ヨーヨー釣り大会、カラオケ大会、しゃんしゃん祭大会などを開催。 • コンサート、郊外シアター、芋煮会、もちつき会などの企画。 • 駅前にメリーゴーランド等、移動遊園地を開く。 • 駅前、高層街を使った宝物探しなどの企画。 • 駅前にシンボルツリーを植樹しイルミネーションを年中灯す。 • イベントがあれば参加する、PR する。 • 定期的に直売店やマルシェを開催するなど、イベントを計画して実行する。 • 市のこどもたちに向けた特産物を活用したワークショップを行なう。

3. 賑わいあふれるまちづくりグループ

<p>情報共有 空き店舗・空き家の</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家（店舗）の情報を一括してまとめておく。 ◎商店街にある、今は営業してなくて住居として使用されているところを新しく建て直す。商店エリアと住居エリアの差別化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 移住者（移住希望者）に空き店舗を紹介する。
<p>情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現段階で商店街にあるお店を自身で回って SNS で魅力を発信する。 ◎商店街でやっていい事、して欲しい事、やって欲しくない事をまとめて公表しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 現段階で商店街にあるお店を自身で回って SNS で魅力を発信する。
<p>識啓発 意見の集約や意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎住民の声をカタチにする。まずは埋もれている人を探すこと（鳥取を思って活動している人は大小問わずいる）。 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥取市中心市街地を賑わいあふれる街にしたいという意識を持つこと。市民の啓発のために、看板などを作成し宣言すること。 • まずは市民が、町の理想を思い描くこと。もしくは、市民が共通してこういう町にしたいと思えるものを示すこと。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市民・鳥取市役所が協力すればできると考えるうえで市役所独自に行えることというのは考えにくい。行政でやって欲しいこととなると市民の参加心が薄くなると思います。 • 「気づいて、応援して、磨いて協力する」を行政の方にはしてもらいたいです。行政の方の後ろ盾はとても心強いです。 	<ul style="list-style-type: none"> • このワークショップにいる人は少なからず何らかの課題意識・考えがあるはずなので、意見出しで終わらず何かのプロジェクトに発展すること、させること。私はしたい。 • 現役時代には 47 都道府県全てを訪れて、商店街や駅前の様子を見ていたので、鳥取市と同規模の商店街についてアドバイスすることができる。 • 意識から小さい行動をすること。 • 市民が日常生活の場所として、観光客が訪れる場所として駅前や商店街のあり方について各年代が参加できるプロジェクトに参加することができる。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

3. 賑わいあふれるまちづくりグループ

【議題2】 地域特性を活かし、地域活動を活性化するためには



カテゴリー	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
施設・環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◎行政保有の施設（特に遊休施設）においてビジネスがやりやすいようにする（コワーキングスペース、シェアオフィスなど）。 • 鳥取県の特産品はここで全て揃うという場所を決定して活性化させるために、デパート、物産センター等との調整役として機能していただきたい。 • インターネット環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> • 鳥取県の特産品は全てが常に揃っている店（場所）などを作る為にアドバイスができる。 • 地域資源の紹介 • 地域情報のPR
住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> • 住民主体のまちづくりが望ましい。ふるさとを思う熱い人がたくさんいるので、ぜひ見つけて支援して欲しい。 • 鳥取での地域活動を知らない人が多いため、紹介する場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> • さらに何かに取り組んでいく必要はなく、今、自分が精一杯やっていることを全力でやり、発信していく。 • 鳥取での地域活動を知らない人が多いため、紹介する場面を設ける。

<p>学生参加に繋がる取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 小学校へは地域活動に強い要望 • 高校・大学生は地域ボランティア活動に積極的参加 • 特に、地域の学生が地域活動に参加しやすいように、きっかけづくりをする。 ◎高校・大学生の農水産業の体験参加 ◎地域活動の内容や団体を宣伝するようなイベントを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 特に、地域の学生が地域活動に参加しやすいように、きっかけづくりをする。 • 地域活動の内容や団体を宣伝するようなイベントを開催する。 • 若い人に“考え”のみを頼らない。行動までさせて担わせる必要がある。 • 農林水産業関係の人々にも関心を持ってもらうような企画を行う。 • 農業に関しては、らっきょう収穫、梨などに物産品の収穫や定植に参加してもらう。 • 水産に関しては、干物作りなどに参加。 • 地域活動は家族参加を積極的に行う（いつも同じ人が行っているように感じる）。 • 市で元々やっているイベント等への参加、参加を促す。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域に行政と深い繋がりのある人物を育成する。 ◎北栄町は青山剛昌生誕の地として「ふるさと館」は残し、その他の企画については、鳥取市に誘致する北栄町との交渉を鳥取市でやってもらいたい。日本各地から、世界から多くの観光客が訪れると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 例えば、北栄町にある青山剛昌ふるさと館から由良駅までの道は境港の鬼太郎ロードと比べれば人が少ない。鳥取の智頭街道をそのように変えてコナンロードとしても良いし、活気も出ると思われる。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

4. だれもが活躍できる健康・福祉のまちづくりグループ

(1) 第1回のアンケート結果

第1回では、グループのテーマに関して参加者の感じている問題点、同じくテーマに関する鳥取市の将来像について意見を尋ねた。これらの意見を集約・分類することにより、2つの議題を抽出した。

だれもが活躍できる健康・福祉のまちづくりグループ（福祉・健康・多文化共生 分野）では、「見守りが必要な世帯の増加、支え手の減少」、「新しい生活様式による支え合い、コミュニケーション機会の増加」に関する意見がみられたことから、『生活不安や孤立を解消するためには』を議題1とした。

また、同様に、「外国人とのコミュニケーションの機会増加、ツールの充実」に関する意見がみられたことから、『外国人等との交流・共生を図るためには』を議題2とした。

	問題点	将来像
見守りが必要な世帯の増加とコロナ禍における 支え合いの方法について	<ul style="list-style-type: none"> • 見守りが必要な世帯の増加（ひとり暮らし高齢者、ダブルケア世帯など）。 • コロナの影響でコミュニケーションの機会が減少し、孤立化、閉じこもり増加による心身状態の悪化。 • コロナ禍で失業等の増加に伴い、生活基盤そのものが不安定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な価値観をお互いに尊重した上で、助けられ上手が増えること。 • 困っている人がいたら助け合えるまち。 • 感染予防に配慮した方法が習慣化し、コミュニケーション機会が増える。 • デジタル機器等を活用し、支え手が減少していく中でも見守りがしっかり行えるようになること。 • 新しい生活様式での雇用が増え、失業者、困窮者が減ること。



【議題 1】 生活不安や孤立を解消するためには

	問題点	将来像
外国人とのコミュニケーション機会の増加、 ツールの充実	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニケーションを円滑に取れるような機会が少ない。 • 理解し合うまでの関係性が作れない。 • お互いの存在を知る機会が少ない。 • 外見だけで判断してしまう。 • 様々な言語でコミュニケーションがとれるツールが身近にない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 知り合うきっかけがある町。 • だれとでも話し合える場がある町。 • 外国人でも分かりやすいインフォメーションがある町。 • 翻訳アプリ、指さし辞書アプリなど気軽にダウンロードして使用できる。



【議題2】 外国人等との交流・共生を図るためには

(2) 第2回のアンケート結果

第2回アンケートでは、第1回で選定した2つの議題について、鳥取市（行政）での取組、市民の取組に関する意見を尋ね、その結果をとりまとめた。

『議題1 生活不安や孤立を解消するためには』では、「子育て・介護状況の把握」、「ボランティアへの支援」、「イベントの企画」に関する意見がみられた。

『議題2 外国人等との交流・共生を図るためには』では、「情報発信の取組」、「イベント等のきっかけづくり」に関する意見があがっている。

【議題1】 生活不安や孤立を解消するためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
の把握 子育て・ 介護状況	◎鳥取市版のダブルケア実態調査（保育園・学校を通じて、ケアする人の就労・心身の健康状況なども）	<ul style="list-style-type: none"> • ゆるやかな見守り（新聞が溜まっていないか等） • 心配な気づきがあれば、民生委員さんや町内役員に相談し、できることは手伝う。
の支援 ボラン ティアへ	◎ボランティア活動している団体に補助金を出す。	<ul style="list-style-type: none"> • 見守りサポートなど、ボランティアで活動できるものを利用する。 • 配食サービスなど、社会的関わりを増やす。

画 イ ン ト の 企 画	<ul style="list-style-type: none"> • イベントを企画してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 知り合うキッカケになるようなイベントを開催する。
---------------------------------	---	--

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

【議題2】 外国人等との交流・共生を図るためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
情報発信の取組	<p>◎紹介動画のリンクを市ホームページに表示する。ツイッターでお知らせする。(紹介動画…市内在住の外国人の方の母国の文化や、鳥取に住んでみた感想、やってみたいこと、市民に伝えたいことなどを紹介するもの)</p>	
づくり イベント等のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> • キッカケ作りのためのイベントの開催 • 知ってもらえるよう、話し合いの場を設ける。 • お互いが知る努力をするよう働きかける。 • 金銭的援助が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> • まずは知ろうとしてみる。 • キッカケ作りのためのイベントの開催 • 知ってもらえるよう、話し合いの場を設ける。 • お互いが知る努力をするよう働きかける。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

5. 快適で暮らしやすいまちづくりグループ

(1) 第1回のアンケート結果

第1回では、グループのテーマに関して参加者の感じている問題点、同じくテーマに関する鳥取市の将来像について意見を尋ねた。これらの意見を集約・分類することにより、2つの議題を抽出した。

快適で暮らしやすいまちづくりグループ（公共交通 分野）では、公共交通について「利便性、体系・仕組み」や「料金が低い」といった意見が共通してみられたことから、『低迷するバス路線の利用促進のためには』を議題1とした。

また、同様に、共助交通について「利用促進に関する課題」や「担い手確保」に関する意見が共通してみられたことから、『共助交通の利用促進、担い手確保のためには』を議題2とした。

	問題点	将来像
利便性、体系・仕組み	<ul style="list-style-type: none"> バス路線から外れた地域に住む人は利用しにくい。特に高齢で徒歩が難しい人ほど利用しない。 バス路線及びJR駅までの距離がある集落が多く、運転免許証を持たない高齢者等は利用しづらい。また、帰りに手荷物等があれば、尚更利用が困難と思われる。 鳥取市直営のバスは、曜日により小学校の就業時間が異なり、登下校の時間に主眼が置かれたダイヤで一般の使い勝手があまり良くない。 	<ul style="list-style-type: none"> くる梨のような循環バスがいろいろな場所で運行されている。 幹線のバスは便数も維持され、連絡するきめ細かな枝線があれば利用者も増すものと思われる。市街地への移動に幹線までのコミュニティバスが運行されている。
料金が高い	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関（バス）の運賃が高く利用しにくい。 バスの利用料金が高いこと。 定期券購入は負担が大きいため家族が自家用車で小中学生を送迎するため、小中学生の利用が少ない。 下宿先の近くにあるバス停と鳥取駅からのバスとを利用したことがあるが、どちらも利用料金が高いと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生の通学費無料。



【議題1】 低迷するバス路線の利用促進のためには

	問題点	将来像
共助交通の利用促進について	<ul style="list-style-type: none"> • 乗り継ぎが前提の交通機関はやはり利用しにくい。 • 利用しても乗り継ぎをしなければならない不便さのため、利用者が増えない。利用に際しては、予約しなければならないため、不便である。 • 現在の制度では乗り換えなどの不便さと地区内移動にお金がかかるので、免許の返納を躊躇する人が多く、高齢者のドライバーが増えている。 • 高齢者は、生活圏が限られており、掛かりつけ医や日常の買い物、金融機関、行政窓口等に行く公共交通はタクシーの利用が見受けられる。 • 路線バスが走っている区間があるので、空白地の課題を地区全体の課題としてとらえることができない住民が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> • 循環バスばかりでなく、福祉有償運送や公共交通空白地有償運送、共助交通などの選択肢を増やす。 • 地区内移動は無償で共助交通を利用できる。 • 地区住民であれば路線バスが運行していても、共助交通を利用できるようにする。 • 免許返納がなかなかできず、高齢のドライバーが増えるので、その代替手段としての交通を確保する。 • door to door での生活交通。鳥取駅、病院等公共施設には公共交通、共助交通を利用して乗換なしで行くことができる。 • 地域の拠点（スーパー、医院、銀行、行政が集積）と住まいの近くを結ぶコミュニティバスが運行されている。 • J Rについても最寄り駅に連絡するコミュニティバスが運行されている。
共助交通の担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の担い手（運転ボランティア・事務局スタッフ）が見つかりにくい。誰も受けたがらない。 • 退職年齢が延びたため、運転手のなり手がいない。人の命を預かる責任、運航日・運行時間が不規則なうえ、運行回数による賃金なので収入が不安定で敬遠される。 	



【議題 2】 共助交通の利用促進、担い手の確保のためには

(2) 第2回のアンケート結果

第2回アンケートでは、第1回で選定した2つの議題について、鳥取市（行政）での取組、市民の取組に関する意見を尋ね、その結果をとりまとめた。

『議題1 低迷するバス路線の利用促進のためには』では、「企画やキャンペーン」、「料金補助・助成」、「利便性の向上」、「情報発信・PR」に関する意見がみられた。

『議題2 共助交通の利用促進、担い手確保のためには』では、「啓発・周知」、「運営の助成・補助」、「運転手への支援・保証」、「ボランティアの取組や制度」に関する意見があがっている。

【議題1】 低迷するバス路線の利用促進のためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
企画やキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> • 利用に対する啓発 • おすすめスポットのバスツアー。 • ノーマイカーデーを徹底させるための特典作り ◎ ノーマイカーデーを増やしバス利用促進の運動を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用促進の周知 • 買い物ツアーを企画してバス利用を図る。 • ノーマイカーデーの徹底 • バス路線が近く通勤が可能であれば曜日を決めてバス通勤をする。 • 移動手段として、できるだけバスを活用する。 • バスを利用する。 • 「バスで行けるか」という判断基準でお出かけしてみる。

料 金 補 助 ・ 助 成	<ul style="list-style-type: none"> ◎利用料の補助（減額） ・バス通勤者に対して通勤手当の一部を助成する。 ・利用料金の値下げ。くる梨と同額。 ・市内の飲食店等と提携してバス通勤者に割引クーポン券を配布する。 	
利 便 性 の 向 上	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域以外での利用認可。地区内なら空白地でなくても利用可能にする。 ・接続の利便性の確保 ◎利便性の向上のために、door to door の運行を認める。 	
情 報 発 信 ・ P R	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスで巡れるスポットのピックアップ、図化。 ・路線バスのP R。 ・バスの利便性をP R。 ◎このバス停にはこれがある！というようなスポットのP R。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスで行ける名スポットを見つける。 ・バス路線でいけるスポットのP R。 ・バス路線のP R（SNS等で）。
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意見や要望などの情報集め。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの

【議題 2】 共助交通の利用促進、担い手確保のためには



カテゴリ	鳥取市役所でやってほしいコト	市民ができるコト
啓発・周知	<ul style="list-style-type: none"> 共助交通の啓発 共助交通の特徴や魅力を周知する。 <p>◎地域貢献に興味を示す若者に向けて発信し、担い手の確保に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な周知（利用促進） 共助交通に対する理解を持つ事。 共助が必要であるという意識を持つ事。 地域の広報誌（まちづくりだより・公民館だより）に定期的に掲載して利用促進を図る。
運営の助成・補助	<p>◎共助交通は、将来的にも黒字化は困難であり、赤字補填の助成制度は将来的にも確実に担保される必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で取り組み易いよう、現在の市の助成制度を必要に応じて見直しを加えながら運用していただきたい。 共助交通の利用者には、店舗と提携して利用ポイント付与等の特典が得られるような制度設定を手助けしていただきたい。 共助交通の運営の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 常に利用者のニーズを把握して、利用し易い運行に勤める。 幹線バスが利用し易いダイヤで共助交通を運行する。 運転候補者を把握して、継続的に補充することに努める。 各共助交通で使用できる回数券や定期券の発行。 利用すると市内で使用できるポイントを付与。
運転手への支援・保証	<ul style="list-style-type: none"> 事故時の運転手及び利用者への保証 不測の事故等の場合に個人に求償されるのではないかと不安があり運転手を敬遠する事例がある。保険の活用により、不安を払拭する必要がある。 事故時の責任 <p>◎運転手の待遇改善。賃金、厚生面での支援（運行団体間での賃金格差解消。人間ドックの補助）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運転手の賃金単価をあげるなど待遇の改善。

<p>や 制 度</p> <p>ボ ラ ン テ ィ ア の 取 組</p>	<p>◎運転ボランティア講習会と運転ボランティアの登録制度作り</p> <ul style="list-style-type: none"> • アルバイト先として若者を雇う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運転ボランティアの協力 • 運転ボランティア講習会の実施（50代～60代対象） • 免許更新時のボランティア募集の紹介 • カーシェアリング
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 飲食費の支援 	<ul style="list-style-type: none"> • 学生として、学問的に共助交通等の地域交通の利便性や必要性を学び、知っておく事。 • システム作りに携わる事。 • 運転技術を身につける。 • 利用料金の値下げ。 • バス待合所の設置及び環境整備。 • 乗換なしで、行きたい所に行くことができる。 • 片道定期券の発行。

注：◎印は、「(鳥取市役所で) やってほしいコト」のなかで、回答者が最も重要と考えるもの